

イングリット・フジコ・ヘミング

ピアノ ソロ リサイタル 2017

Program

F. ショパン (1810-1849)
Frédéric Chopin

エチュード 変イ長調 作品25-1 「エオリアンハープ」
エチュード 変ト長調 作品10-5 「黒鍵」
エチュード ホ長調 作品10-3 「別れの曲」
3つの新練習曲(遺作) 第1番 へ短調
エチュード ハ短調 作品10-12 「革命」
ノクターン 変ホ長調 作品9-2

C. A.ドビュッシー (1862-1918)
Claude Achille Debussy

雨の庭 「版画」より 第3曲
月の光 「ベルガマスク組曲」より 第3曲

..... intermission

L.V. ベートーベン (1770-1827)
Ludwig van Beethoven

ピアノソナタ 第14番 嬰ハ短調 作品27-2 「月光」

F. リスト (1811-1886)
Franz Liszt

パガニーニによる大練習曲 第6番
イ短調 「主題と変奏」 作品141より
愛の夢 第3番 変イ長調 作品541より
パガニーニによる大練習曲 第3番
嬰ト短調 「ラ・カンパネラ」 作品141より

※演奏曲目、曲順が一部変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

イングリット・フジコ・ヘミング (ピアノ)
Ingrid Fuzjko Hemming, piano

スウェーデン人画家・建築家の父と、日本人ピアニストの母の間にベルリンで生まれる。母の手ほどきでピアノを始め、10歳でレオニード・クロイツァーに師事。クロイツァーは「彼女はいまに世界中の人々を感激させるピアニストになるだろう」と予言していた。東京芸大を経て、文化放送音楽賞・NHK毎日コンクール受賞、その後、ベルリン高等音楽学校に1位で入学。その後、ウィーンでパウル・パドゥラ＝スコダに師事。ブルーノ・マデルナ、レナード・バーンスタイン、チェルカウスキー、マガロフ等多くのクラシック界の権威にその才能を認められて支持を獲得しコンサートを行っていたが、聴力を失うアクシデントに遭遇。1999年、リサイタルとNHKのドキュメント番組が大反響を呼び、デビューCD「奇蹟のカンパネラ」他をリリース。クラシック界異例の売り上げで、日本ゴールド・ディスク大賞、クラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤーを4回受賞した。モスクワ・フィル、ロイヤル・フィルなど世界各地の著名オーケストラと共演。彼女と共演したミッシェル・マイスキーは「あなたの芸術を賞賛します」と形容している他、共演した多くのアーティスト達が絶賛している。また、ヨーロッパの数々のフェスティバルからも招待されている。毎年多くのチャリティ・コンサートを行っている他、大の動物愛護者であり、ドイツには彼女の名を冠した動物保護団体も出来ている。2013年、スペイン最大のクラシック・ラジオ番組「カタルーニャ・ラジオ」のリスナーにより、フジコの最新CDが1位に選ばれた。2014年には9月から11月までヨーロッパ9カ国11会場で演奏会を開催し、各地でスタンディングオベーションを受け大好評を博した。2015年6月にはブラハララジオシンフォニーと共演、12月にはキエフ国立フィルハーモニーと共演し素晴らしい演奏に拍手の嵐であった。2016年3月ロサンゼルスやシカゴで公演4月には、ニューヨークの国連加盟60周年記念の文化事業で演奏、その後チリ、ブエノスアイレス、パラグアイとアメリカから南米の演奏会でスタンディングオベーションを受け、大好評でツアーを終えた。秋にはヨーロッパ6カ国10公演を行い拍手の嵐で、11月には「N響の仲間たち」、エルサレム交響楽団と日本で共演、2017年4月には日本でポーランド・バルチック弦楽四重奏団、イタリア国立管弦楽団と精力的に演奏活動を行い、5月にはロサンゼルス、シンシナティ、ニューヨークとアメリカ公演で大盛況で終えた。2017年7月末からポーランドのフェスティバルに招待され出演予定。秋にかけて、ドイツ、スロバキア、ブタベスト、ウクライナ、ロシアなどで公演やフェスティバルに招待され出演が予定されている。今後の企画公演として11月、12月に銀座ヤマハホールでのソロ・リサイタルが予定されている。

企画・制作:ラ・カンパネラ/青葉ピアノ